

第 1 回 二ノ瀬 ユリ

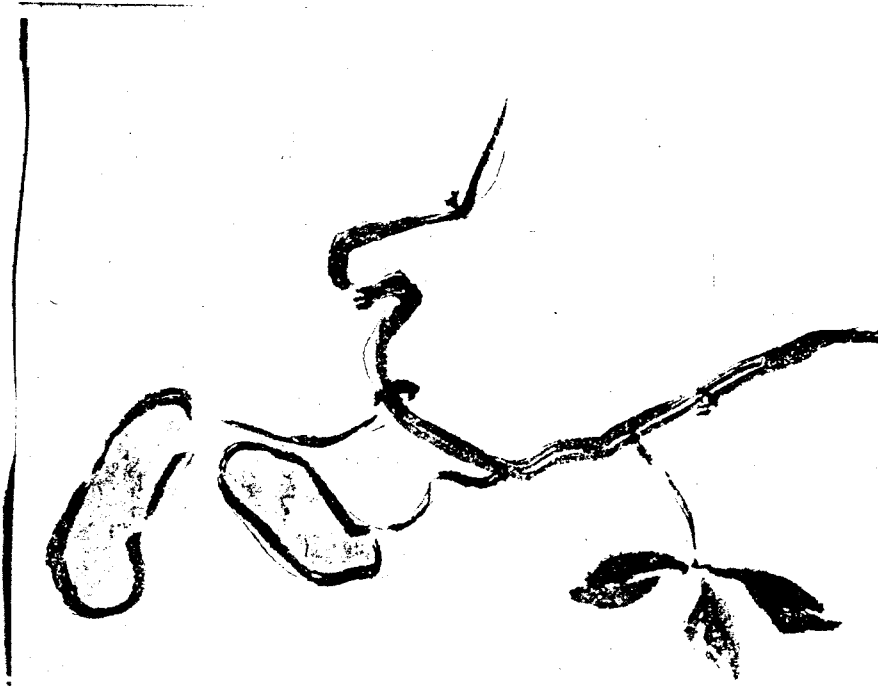
昭和46年11月23日（火）

出町柳駅 —30分— 鞍馬駅 —35分— 貴船神社 —80分—

滝谷峠 —110分— 二ノ瀬駅 —25分— 出町柳駅

天気が悪かったので姉の子供は連れて来なかった。 4時間近くの山道を歩きに歩いた。 足が棒のようになった。

歩こう会初めての参加滝谷峠はきびしかった。 蒸気汽関車のごとく背から湯気ほうほうと出して歩いた。 つらかった。 参加はこれっきりにしようと思いながら歩いたが、山上での爽快さが何とも気持ちがよかった。



第 2 回 ポンポン山

昭和46年12月12日（日）

高槻駅 -10分- 神峰山寺口 -20分- 神峰山寺 -60分-
本山寺 -60分- ポンポン山 -40分- 杉谷 -30分-
善峰寺 -30分- 小塩 -15分- 阪急東向日町駅

ポンポンタヌキが出てきそう。 10名以上集まる。 かたや日本アルプス縦走スタイル。 かたや背広ネクタイ、皮靴スタイルとかや？ 登山者さまざま・・・

子供の頃から聞きなれたポンポン山。 私にとっては初めて登る。 住居地近くにこんな場所が、こんな寺院が、未知の場を探ねるのは楽しいものだ。

下山ののち、お好み焼にビールのうまさが忘れられない。 T先生の、コンロの下に置いたビニールのマップ袋が熱で穴があいてしまったのが印象的。

第 3 回 鎌 倉 峡

昭和47年1月30日（日）

大阪駅 8.32 — 篠山口行 — 道場駅 9.59 — 60分 — 百丈河原 — 150分 —

七合橋 — 60分 — 丸山 — 90分 — 有馬温泉

沢ぞいのハイキングは特に野趣に富んでいておもしろい。 岩ヒバ、コケ採集も楽しい。 事後の有馬での一風呂も思い出。

初めて買い初めて履いたニューキャラバンシューズ。 河原の大岩石にはかみ合わずぬぎたい気持。 有馬でいい湯だな・・・揚句の果ては湯ざめで翌日欠勤。



第 4 回 愛 宕 山 か ら 芦 見 峠

昭和47年3月5日（日）

京都駅 一出雲市行ー 保津峡駅 ー60分ー 水尾 ー90分ー
9.03 9.48

愛宕山 ー110分ー 地藏山 ー45分ー 芦見峠 ー35分ー 越畑口
ー80分ー 八木駅

長い長い道のり。 帰りの舗装道路では自動車恋し。

距離が長く疲れた。 しかし本当に“歩いた”気がしたコースである。

永年見上げていた愛宕山を足下にする何とも言えない良い気分。
熊笹の葉につもる残雪をかき分け進み、下半身つめたくぬれる。

第 5 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和47年3月17日（金）

石山駅 -15分- 上関 -80分- 笹間が岳 -30分-
池のある広場 -30分- 天神川 -40分- 枝 -19分- 石山駅

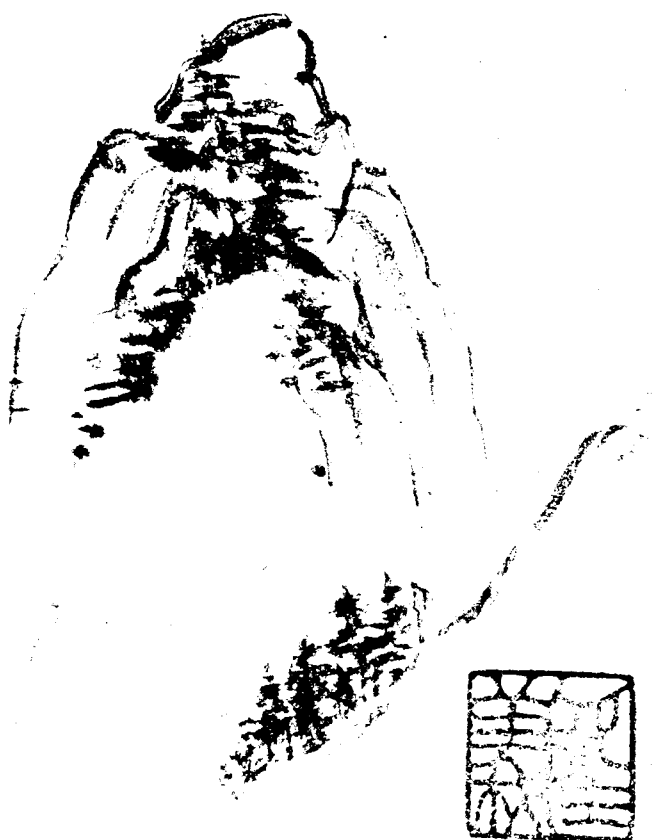
憧れのアルプス、一体どんなところかしら・・・・
滋賀にもあった。 絶景かな！

印象に残るポイントがいくつかあって日帰りハイキングの絶好の
コースである。

第 6 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和47年5月21日(日)

石山駅 - 25分 - 里 - 50分 - 迎不動 - 40分 - 休憩所
- 50分 - 不動寺 - 矢筈岳 - 笹間岳 - 80分 -
里 - 25分 - 石山駅



第 7 回 シ ヤ カ 岳

昭和47年9月23(土)

三条京阪 ―バス― 比良登山口 ―45分― コウドウ ―25分―
大山口 ―100分― 金糞峠 ―40分― 奥深谷源流沿いにヤクモガ原
―15分― 比良ロッジ ―60分― カラ岳を経てシヤカ岳
―60分― ヤクオ山大石を経て涼峠 ―25分― 楊梅滝
―30分― 北小松バス停 ―バス― 大津駅

比良山系へはこれが初めて、金糞峠でみる野生のシヤクナゲ群生も初めて。



第 8 回 半 国 山

昭和47年11月12日（日）

京都駅 — 亀岡駅 —30分— 宮川 —40分— 金輪寺
8.27 9.25 9.40
—90分— 半国山 —60分— 千ガ畑 —40分— 亀岡駅
16.37 17.42
— 京都駅
18.23

山頂は360度の展望台、能勢の山々の紅葉が素晴らしい。

第 9 回 金 勝 ア ル プ ス

昭和47年12月10日（日）

草津駅 -30分- 片山 -20分- 碎石場 -20分- 宮城岩
-10分- 白糸滝 -60分- 耳岩 -30分- 白石峰 -20分-
竜王山 -40分- 金勝寺 -90分- 片山 -30分- 草津駅

金勝寺の仁王さんが印象に残る、確かあの眼は水晶でっせ。

第 10 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和48年3月16日（金）

石山駅 -18分- 里 -20分- 上関 -80分- 笹間が岳
-30分- 池のある広場 -30分- 天神川 -40分-
枝 -19分- 石山駅



第 11 回 蓬 萊 山

昭和48年10月15日（月）

大津駅　ーバスー　近江木戸　ー140分ー　金ピラ峠　ー45分ー
蓬萊山　ー40分ー　クロトのハゲ　ー15分ー　木戸峠　ー35分ー
葛川越　ー110分ー　大物　ーバスー　大津駅

第 12 回 愛宕山

昭和49年2月10日（日）

嵐山駅 — 野野宮 — 二尊院 — 化野念仏寺 —
清滝 — 月輪寺 — 愛宕神社 — 表参道 — 清滝
— バス — 嵐山駅

滑った滑った氷の道、阪急霧氷ハイキングに参加、アイゼンがほしかった。



第 13 回 比 良 八 瀨 滝

昭和49年10月14日（月）

京都駅 —61分— 近江高島駅 —30分— 黒谷バス停 —100分—
8.03 9.04 9.08

八瀨滝・大摺鉢 —110分— 北比良峠 —50分— 大山口
—45分— 比良登山口 —バス— 比良駅 — 京都駅
16.31 17.18

思わず足が震える滝登りの難コース、垂直に登って後から来る人の頭を見下ろすと、あな淋しや秋の空。（誰れのことや！）

第 14 回 リ ト ル 比 良

昭和51年11月1日（月）

京都駅 ー 近江高島駅 ー10分ー 音羽 ー90分ー 岳山
8.05 9.20 9.22

ー130分ー 岩阿沙利山 ー15分ー 鵜川越 ー90分ー
寒風峠 ー35分ー 涼峠 ー40分ー 北小松駅 ー京都駅

山々のホープ比良山、黙々と歩いても何となく味わい深い山、
これが比良だ。

第 15 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和52年3月20日（日）

石山駅 -15分- 上関 -80分- 笹間が岳 -30分-
池のある広場 -30分- 天神川 -10分- 迎不動 -30分-
鎧ダム -50分- 堂山 -60分- 羽栗町 -バス- 石山駅

水晶発見に一獲千金の夢見ながらの楽しいコース

新調のリックに弁当・水筒を入れ、7時45分家を出る。参加者14名、登山客が多かった。変化に富んで良いコース、一度家族づれで来てみたい。

第 16 回 七 曜 岳

昭和52年4月1日（金）～3日（日）

大和上市駅 -110分- 和佐又口 -60分- 和佐又スキー場
-30分- 和佐又山 -20分- 和佐又ヒュッテ（泊）
-10分- 和佐又山の鞍部 -50分- 杉苗畑分岐 -50分-
無双洞 -120分- 七曜岳 -120分- 大普賢岳 -40分-
石ノ鼻 -30分- 笹ノ窟 -50分- 和佐又ヒュッテ（泊）
-50分- 和佐又口 -110分- 大和上市駅

「ヤマシャクヤク・イワナンテン・イワタバコ・トリカブト・
シャクナゲ・ヒカゲツツジ」

第 17 回 鞍 馬 ・ 大 原

昭和52年5月3日（火）

京福電鉄出町柳駅 —30分— 鞍馬 —90分— 百井岐れ
10.02

—200分— 寂光院 —45分— 京阪三条

趣味でもないのに、人まねでシャクナゲを持ってかえり、方寸の
庭に植える。 その年花のついたのには驚いた。



第 18 回 六 甲 山

昭和52年10月2日（日）

阪急宝塚駅 ーバスー 舟坂橋 ー35分ー 老ヶ石 ー10分ー
川上の滝 ー35分ー 鳥居茶屋 ー60分ー 奥池 ーバスー
阪急芦屋駅

「ウチョウラン・コメツツジ」

第 19 回 武 奈 ケ 岳

昭和52年11月23日（水）

京都駅 — 近江高島駅 —30分— 黒谷 —100分— 八洲滝
—80分— イブルキのコバ —50分— 武奈ケ岳 —25分—
イブルキのコバ —20分— ヤグモ小屋 —20分— 北比良峠
—50分— 大山口 —15分— イン谷口 —20分— 比良駅

天下の武奈ケ岳、登りはきつい。紅茶がおいしかった。

6時50分家を出る。参加6名、天気が良く紅葉がとても良かった。武奈ケ岳に登るピッチが早くとても苦しかった。日頃の運動不足解消。

「ダイヤモンドソウ」

第 20 回 大 普 賢 岳

昭和53年5月3日（水）～4日（木）

大和上市駅　－110分－　和佐又口　－60分－　和佐又ヒュッテ（泊）
　　－40分－　笙ノ窟　－30分－　石ノ鼻　－60分－　大普賢岳　－80分－
あみだヶ森分岐　－20分－　伯母谷視　－90分－　上谷分岐　－70分－
柏木　－90分－大和上市駅

「エイザンスミレ・エンレイソウ・ゴゼンタチバナ・シャクナゲ」



第 21 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和53年5月28日（日）

石山駅 -25分- 上関 -80分- 笹間が岳 -30分-
池のある広場 -30分- 天神川 -15分- 迎不動 -30分-
鎧ダム -30分- 堂山 -50分- 羽栗町 -30分- 石山駅

家族総出の参加。子供たちは水晶の発掘に興ずる。鉱物に関する N先生の博学に感心し、わが父の薄学を嘆く。

「カキラン・イワナシ・コバノトンボソウ」



第 22 回 六 甲 山

昭和53年7月24日（月）

阪急宝塚駅　－バス－　舟坂橋　－35分－　老ヶ石　－10分－　川上の滝
－35分－　鳥居茶屋　－75分－　高山植物園　－バス－　山頂駅
－　阪急六甲駅



第 23 回 山 上 ケ 岳

昭和53年7月31日（月）～8月2日（水）

下市口駅 -110分- 洞川 -50分- 大峰大橋 -50分-
一本茶屋 -70分- 洞辻茶屋 -60分- 山上ケ岳（泊）
-40分- 小笹の宿 -40分- あみだヶ森 -40分-
小普賢岳 -20分- 笹の窟分岐点 -70分- 国見岳 -120分-
行者還の宿 -90分- 一ノタオ -45分- 石休の宿跡
-30分- 聖宝の宿跡 -60分- 弥山小屋（泊）
-50分- 狼平 -90分- 栃尾辻 -80分- 門前 -40分-
川合 -90分- 下市口駅

「マイズルソウ・オオヤマレンゲ・レンゲショウマ・ジャクナゲ・
ヒカゲツツジ」



第 24 回 蘇 岳

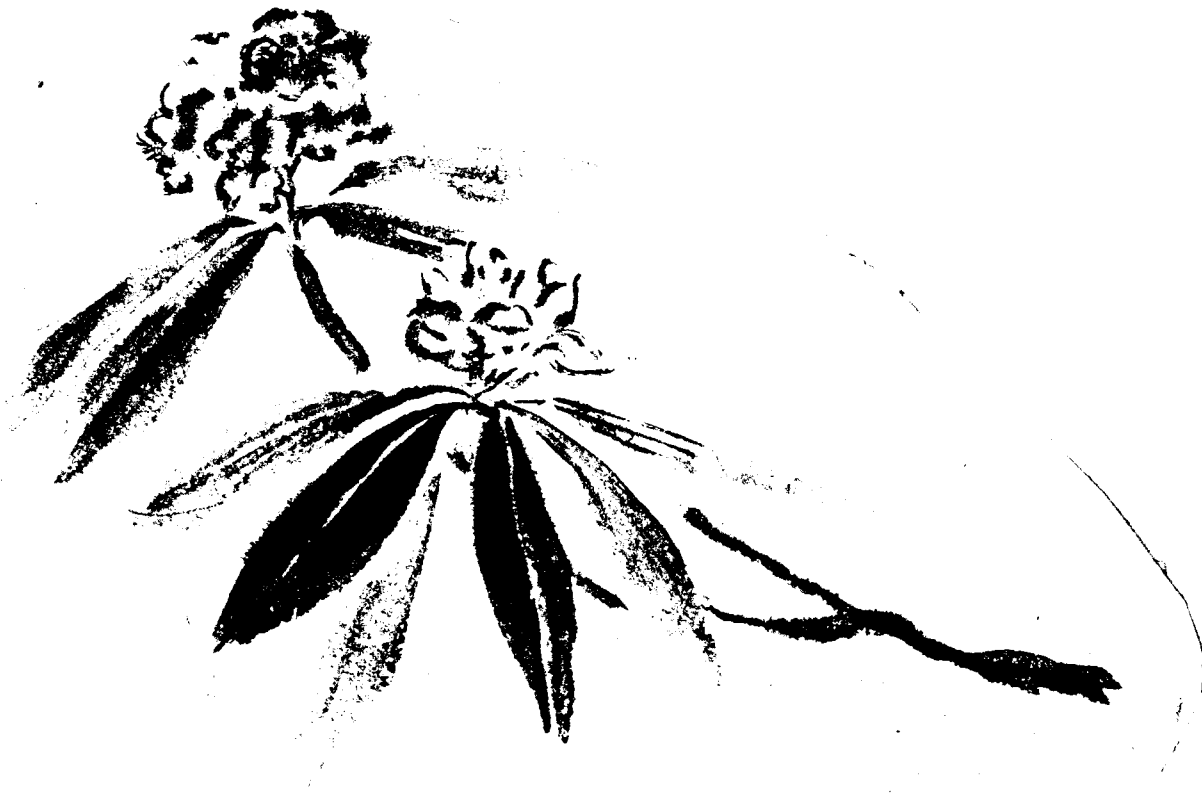
昭和53年9月16日（土）～17日（日）

近鉄榛原駅 -80分- 麦谷口 -10分- 大又（泊）

-190分- 明神小屋 -20分- 三ッ塚 -80分- 蘇岳 -50分-
大鏡池 -60分- 大又 -80分- 榛原駅

山道なし！ 苦労し、バスへの乗車ヒヤヒヤ！ 気になる宿泊者！
整理ダンスの名称つけらる。

「シャクナゲ」



第 25 回 住 塚 山

昭和53年10月22日（日）

近鉄名張駅 -100分- 長野 -60分- 屏風岩公苑 -30分-
住塚山 -15分- ゼニヤタワ -25分- 布引滝 -45分-
宇野川橋 -25分- 近鉄室生口大野駅



第 26 回 比 良 ・ 奥 ノ 深 谷

昭和53年11月23日（木）

京都駅 — 比良駅 —11分— イン谷口 —25分— 大山口
—100分— 金糞峠 —20分— 大橋小屋 —50分— 牛コバ
—50分— 坊村 —90分— 三条京阪

なつかしの坊村、宿泊者が多い。我々は今日家路へ急ぐのだが・・・

金糞峠迄はとてもきつかったが、後は楽。景色も良く紅葉がまだ残って良かった。

第 27 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和54年1月14日（日）

石山駅 -25分- 上関 -80分- 笹間が岳 -30分-
池のある広場 -30分- 天神川 -15分- 迎不動 -30分-
鎖ダム -30分- 堂山 -50分- 羽栗町 -30分- 石山駅

蘭の名も覚えました。 クモラン . . . 多数あり、ドクター
先生ありがとう。



第 28 回 金 勝 ア ル プ ス

昭和54年2月25日（日）

石山駅 -35分- 桐生辻 -50分- 狛坂磨崖仏 -30分-
白石峰 -20分- 竜王山 -20分- 白石峰 -15分- 天狗岩
-25分- 鶏冠山 -50分- 片山 -20分- 草津駅

登山コースも何のその、我が行く所全て道なり、それにしても鶏冠山の下りは苦勞しましたなあ。

「イチャクソウ」



第 29 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和54年3月11日（日）

石山駅 -25分- 上関 -80分- 笹間が岳 -30分-
池のある広場 -30分- 天神川 -15分- 迎不動 -30分-
鎧ダム -30分- 堂山 -羽栗町 -30分- 石山駅



第 30 回 金 毘 羅 山

昭和54年4月29日（日）

京阪三条　－40分－　戸寺　－90分－　金毘羅山　－180分－
百井峠　－70分－扶桑橋　－25分－　鞍馬　－30分－　出町柳

バスが満員、採取に熱中して遅れる、夕方から雨。

シャクナゲの魅力にひかれ道を迷う。　帰りは見知らぬ人の車で
鞍馬駅へ！

「イワウチワ・シャクナゲ・ヒカゲツツジ」

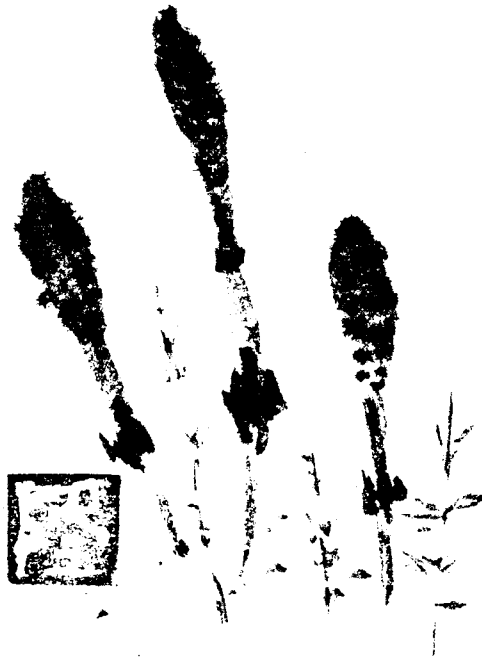
第 31 回 湖 南 ア ル プ ス
(太 神 山)

昭和54年5月20日 (日)

石山駅 -25分- 上関 -笹間が岳 -30分- 大谷河原
-30分-天神川 -30分- 迎不動 -60分- 不動寺
-110分- 新免 - 石山駅

慣れた道とはいってもなかなか覚えられない。 いつ来ても楽しい
コース。琵琶湖一望。

登山者が多いのでびっくり、山を降りてからの酒盛が楽しみ。
帰りのバスの時間も気にならなくなるほど。



第 32 回 大 峰 山 奥 駈

昭和54年8月2日（木）～5日（日）

下市口駅 —110分— 洞川 —50分— 大峰大橋 —50分—
一本松茶屋 —70分— 洞辻茶屋 —60分— 山上ヶ岳（泊）
—40分— 小笹の宿 —40分— あみだヶ森前分岐 —40分—
小普賢岳 —20分— 笹の窟分岐点 —70分— 国見岳 —120分—
行者還の宿 —90分— ノタオ —45分— 石休の宿跡
—30分— 聖宝の宿跡 —60分— 弥山小屋（泊）
—30分— 八経ヶ岳 —120分— 舟のタワ —25分— 楊子ヶ宿跡
—60分— 孔雀硯 —25分— 緑の鼻 —45分— 釈迦ヶ岳
—20分— 深仙の宿 —20分— 太古の辻 —30分— ニツ石
—60分— 前鬼（泊）
—30分— 前鬼林道 —40分— 不動滝前 — 大和上市駅

前鬼で有名なのは、前鬼川不動七重の滝であろう。この滝はスケールに於いては抜群であるが、残念ながら今夏は青天が続いたので水量が少なかった。宿坊での山菜料理は美味であり、水も豊富で美しく、それに加えて風呂もよい。ただし、帰路に注意！

“ヤマヒル”のお世話になった人もあったと聞くが・・・。

「イワナンテン・マイズルソウ・レンゲショウマ・シャクナゲ・ヒカゲツツジ」



第 33 回 比 良 ・ 八 瀨 滝

昭和54年9月23日（日）

近江高島駅 —30分— 鹿ヶ瀬道 —100分— 八瀨滝 —110分—
次郎坊 —60分— カラ岳 — シヤカ岳 —80分— 比良リフト前
—15分— 比良駅
魚止の滝 — 障子の滝 — 空戸の滝 — 大摺鉢 — 小摺鉢
— 屏風滝 — 貴船の滝 — 七遍返し

滝にうたれて修業とやら、美しい、すばらしいコース、身が清められた。



第 34 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和55年1月27日（日）

石山駅 -25分- 上関 -80分- 笹間が岳 -30分-
池のある広場 -30分- 天神川 -40分- 枝 -19分-
石山駅

鉱物博物館を見学

第 35 回 大 洞 山

昭和55年3月21日（金）

近鉄名張駅 -55分- 中太郎生 -60分- 三多気方面分岐点
-30分- 大洞山雌岳 -20分- 雄岳 -60分- 大タワ
-40分- 下太郎生 -45分- 近鉄名張駅

たまには法螺でも言いたくなる。 やっとたどりついた「大洞山」
ここは三重県隣りは奈良よ。 ボラ

「サイハイラン・レンゲツツジ」



第 36 回 魚 谷 峠

昭和55年4月27日（日）

出町柳駅　－30分－　貴船口駅　－35分－　貴船神社　－40分－
奥貴船橋　－100分－　芹生　－85分－　魚谷峠　－90分－　出合橋
－45分－　京阪三条

「イチリンソウ・ミヤマカタバミ・ヒトリシズカ・エビネ」



第 37 回 八ヶ岳

昭和55年7月26日（土）～29日（火）

茅野駅 — 渋ノ湯 —120分— 黒百合平 —70分— 天狗岩
—60分— 夏沢峠 —60分— 黄岳 —70分— 横岳
—50分— 赤岳石室 —50分— 赤岳（泊）
—70分— キレット —150分— 権現岳 —70分— 青年小屋
—30分— 編笠山 —210分— 小淵沢

赤岳・雷・風・スリルというより、こわかった。 やっとたどり
ついた山頂小屋身を横たえる場所もなし、大混雑。

第 38 回 リ ト ル 比 良

昭和55年10月10日（金）

近江高島駅 -5分- 音羽 -90分- 岳山 -130分-
岩阿沙利山 -110分- 寒風峠 -60分- 揚梅滝 -30分-
北小松駅

かつてこのコースで、その日のペースメーカー U氏が熊ざさを見
発奮し、一目散に熊ざさの中をつき進み、2時には駅へ着いたとい
う伝説の道。

「シライトソウ・ヒメシャガ」

第 39 回 小 椽

昭和55年11月1日(土)～3日(月)

天王寺駅 — 大和上市駅 — 柏木 — 河合 — 小椽温泉(泊)
14.40 15.21 16.07 17.20 18.20 19.00

—90分— 市クボ —90分— 木和田 — 河合 — 白川荘(泊)

白川 — 柏木 — 大和上市駅
7.30 14.52

小椽温泉 ☎ (07468) 3- 0356

白川荘 ☎ (07468) 2- 0174

「ナツエビネ・イワナンテン・クマガイソウ・ジンジソウ・
ジャクナゲ」

第 40 回 鷺 峰 山

昭和55年11月30日（日）

宇治駅 -30分- 岩山 -35分- 信西塚 -金胎寺

（行場めぐり120分） -50分- 湯屋谷 -45分- 宇治駅

第 41 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和56年2月8日（日）

石山駅 -30分- 枝 -50分- 天神川 -50分- 池のある広場
-40分- 笹間が岳 -40分- 上関 -25分- 石山駅

今日は逆コースを登る。 いつもと異った感じ、上関で祝杯。



第 42 回 観 音 溪 と ゴ ロ ゴ ロ 岳

昭和56年3月22日（日）

苦楽園口駅 -15分- 鷲林寺バス停 -15分- 鷲林寺 -10分-
観音溪旭滝 -25分- 稜線 -30分- ゴロゴロ岳頂上 -45分-
苦楽園二番町 -15分- 芦屋川駅

昨日までの天気うそのよう、天気快晴、子供連れハイキング18名参加、山頂でカレーライス、ウイスキーごちそうになる。

家族づれが多く参加者の平均年齢がぐっと下がる。 K先生は背負い子姿で登山、浪工版名月赤城山というところ。

「ヒトツボグロ」

第 43 回 天ガ岳

昭和56年4月29日（水）

出町柳駅 —30分— 鞍馬 —40分— 扶桑橋 —90分— 百井峠
—30分— 天ガ岳 —90分— 寂光院 —15分— 大原 —
京阪三条

午後から雨。

第 44 回 赤 目 四 十 八 滝

昭和56年5月24日（日）

赤目口駅 -15分- 赤目滝 -105分- 鬼ヤ坂峠 -75分-
椿井峠 -25分- フヤ塚 -15分- メシナ地蔵 -15分-
奥香落高原ロッヂ -15分- 高原ロッヂ口 -60分- 名張駅

昨日からの雨模様思いきって決行、午後から降り出した。もう一度来たいところ。



第 45 回 堂 満 岳 ・ 武 奈 ケ 岳

昭和56年7月12日（日）

イン谷口　－60分－　ノタノホリ　－90分－　堂満岳　－25分－
金糞峠　－40分－　中峠　－30分－　ワサビ峠　－40分－　武奈ヶ岳
　－25分－　イブルキノコバ　45分－　北比良峠　－35分－
カモシカ台　－30分－　大山口　－20分－　イン谷口

堂満の登りは胴満々（へたなしゃれ）と汗が吹き出る急坂だ。
ワサビ峠よりの武奈はやさしい姿で登山客を迎えてくれる。

北アルプス穂高のトレーニング用登山、約8時間歩きっぱなし、
新調の登山靴の調子は良い。　堂満岳を登る時、体力の限界を感じる。

第 46 回 北 ア ル プ ス 穂 高 岳

昭和56年7月25日（土）～29日（水）

京都 — 松本 —25分— 新島々駅 —90分— 上高地 —60分—
明神 —60分— 徳沢 —横尾 —180分— 涸沢 —150分—
北穂高（泊）
—150分— 涸沢岳 —20分— 穂高岳山荘 —50分— 奥穂高岳
—100分— 前穂高岳 —120分— 岳沢ヒュッテ —120分—
上高地 — 松本 — 京都

夢にまでみた穂高岳、缶ビールおいしかった。三泊の楽しい山歩。

穂高岳は岩の殿堂といわれるだけあって、石がごろごろしていて危険がいっぱい。山小屋の中から御来光させてもらう。上高地での酒盛で疲れがふっとぶ。松本で風呂に入り汗を落す。酔が回り列車を引き止める。

第 47 回 金 剛 山

昭和56年10月10日（土）

難波駅　－40分－　河内長野駅　－60分－　千早　－50分－
久留野峠　－30分－　伏見峠　－20分－　湧出岳　－20分－
社務所　－50分－　千早城跡　－20分－　登山口　－60分－
河内長野駅

山頂で「餅まき」にて会う。　餅と品物を交換してくれる。
「カンアオイ」

第 48 回 愛宕山

昭和56年11月29日（日）

京都駅 ー 保津峡駅 ー60分ー 水尾 ー90分ー 愛宕山
9.08 9.40

ー30分ー 月輪寺 ー40分ー 梨ノ木谷出合 ー30分ー 清滝
ー40分ー 嵐山

第 49 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和57年2月28日（日）

石山駅　－25分－　上関　－80分－　笹間が岳　－30分－
池のある広場　－30分－　天神川　－40分－　枝　－19分－
石山駅

実家へ帰った気分の湖南アルプス、又来てみたいところ。

第 50 回 霊 仙 山

昭和57年4月10日(土)~11日(日)

京都駅 — 醒ガ井 —10分— 上丹生(泊)
16.21 17.57
—10分— 浄水場 —30分— 林道終点 —60分— こうもり穴
—60分— 霊仙滝 —120分— 尾根道との出合 —30分—
経塚山 —20分— 霊仙三角点 —10分— 経塚山 —15分—
あとらが池 —90分— 汗ふき峠 —15分— 樽ヶ畑(廃村)
—90分— 醒ガ井養鱒場 —15分— 醒ガ井駅

民宿 やまびこ ☎ 07495- 4- 1736

「フクジュソウ・イチリンソウ・ニリンソウ・ミスミソウ・
ヤマシャクヤク・トリカブト」

第 51 回 リ ト ル 比 良

昭和57年5月16日（日）

茨木駅 ー 高槻駅 ー 京都駅 ー 堅田駅 ー 近江高島駅
7.27 7.33 8.03 8.36 9.03 9.23

ー5分ー 音羽 ー90分ー 岳山 ー130分ー 岩阿沙利山

ー110分ー 寒風峠 ー60分ー 揚梅滝 ー30分ー 北小松

第 52 回 磐 梯 山

昭和57年7月30日（金）～31日（土）

仙台 — 福島 — 205分（磐梯吾妻スカイ・レークライン）—
磐梯高原 — 五色沼 — 川上温泉（泊）
— 150分 — 三合目 — 100分 — 弘法清水 — 30分 — 磐梯山
— 150分 — 押立温泉 — 50分 — 翁島駅 — 猪苗代駅 —
郡山駅 — 東京駅 — 京都駅

歌で名高い山であるが、あいにく山頂はガス、下山が大変だった。

第 53 回 古 光 山

昭和57年10月10日（日）

近鉄名張駅　－40分－　太良路　－90分－　亀山峠　－40分－
亀山・後古光山のあん部　－40分－　後古光山頂　－20分－
フカタワ（ハザミ峠）　－40分－　古光山　－40分－　北京峠
（コンピラ平の東端）　－50分－　塩井　－20分－　今井
－50分－　名張駅

古光山、遠くから眺めると、そびえ立つ。　名張の駅が印象的、
バス待ち、土産店・・・・

古光山より北と思って進んだら南に向い登山口へもどった不思議
な山歩きだった。

「ヒゴスミレ・ウメバチソウ」

第 54 回 花 折 峠 か ら 蓬 萊 山

昭和57年11月14日（日）

茨木 —（快速）— 京都 — 堅田 —30分— 平 —20分—
登山口 —30分— 荒木峠 —25分— 権現山 —30分— ホッケ山
—25分— 小女郎ガ池 —5分— 小女郎峠 —25分— 蓬萊山
—50分— 金毘羅谷登山口 —70分— 蓬萊 — 京都

比良南部の明るくおおらかな風景がいい。 それにしても小女郎池
の水ゴケはこの日以後、絶えてしまったという事は無いでしょうね。

「エイザンスミレ」



第 5 5 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和58年1月16日（日）

石山駅 -25分- 上関 -80分- 笹間が岳 -30分-
池のある広場 -30分- 天神川 -40分- 枝 -19分-
石山駅

慣れたコースでの雪（山）見酒、帰りの事等忘れて、次の次の次のバスに乗ろうや。

第 5 6 回 ポ ン ポ ン 山

昭和58年2月19日（土）

高槻駅 —10分— 神峰山寺口 —20分— 神峰山寺 —60分—
本山寺 —60分— ポンポン山 —150分— 金蔵寺 — 長峰
— 桂駅

花の寺は行かなかったけど、違う道もまた楽し。

「イカリソウ」



第 57 回 飯 道 山

昭和58年3月20日（日）

京都駅 — 草津駅 — 貴生川駅 —20分— 飯道寺 —40分—
飯道山三角点 —30分— 飯道神社 —30分— 宮町 —45分—
紫香楽宮跡 —15分— 雲井 — 石山駅

子供づれで参加、飯道山の山頂より琵琶湖を遠方にみる。 ウィスキーの味、みそ汁の味格別。

第 58 回 牛 尾 観 音 か ら 醍 醐

昭和58年5月1日（日）

山科駅 -90分- 牛尾観音 - 高塚山 -40分- 上醍醐
-50分- 醍醐三宝院 - 京阪六地藏

午後から雨、判断よろしく早めにひきあげる。



第 59 回 霊 仙 山

昭和58年5月3日（火）～4日（水）

大阪 — 茨木 — 京都 — 醒ガ井 —15分— 養鱒場
13.17 13.29 13.51 15.13

—90分— 樽ヶ畑（泊）

—30分— 汗フキ峠 —100分— 経塚山 —20分— 霊仙山

—10分— 経塚山 —10分— 尾根道との出合 —30分—

霊仙滝 —70分— 上丹生 —10分— 醒ガ井

かなや 樽ヶ畑 ☎ 07495-4-0320

このたびの霊仙山登山は2度目であるが、前回の上丹生からの入山よりも今回のコースの方が比較的なじみ易い様に思われた。最高点も征服して全員満足した様子。宿泊した山小屋での石油ランプ生活は愉快であった。

「イカリソウ・ミスミソウ・ヒロハノアマナ・カンアオイ」

第 60 回 蛇 谷 ケ 峰

昭和58年6月5日（日）

茨木 ー 京都 ー 堅田 ー 近江高島 ー27分ー 畑 ー
7.27 8.03 8.36 9.03 9.23

ボボフタ峠 ー 蛇谷ケ峰 ー 入部谷越 ー 伊黒 ー
近江高島

「クモキリソウ」

第 6 1 回 堂 満 岳 ・ 武 奈 ケ 岳

昭和58年7月10日（日）

比良駅 -10分- イン谷口 -130分- 堂満岳 -25分-
金養峠 -45分- 中岳 -30分- 武奈ヶ岳 -25分-
イブルキのコバ -20分- ヤクモ小屋 -20分- 北比良峠
-50分- リフト前 - 比良駅

「シャクナゲ」

第 62 回 久 住 山

昭和58年7月31日（日）～8月4日（木）

弁天町（関西汽船乗り場） — 別府港 — バス — 湯布院駅
16.30 7.30 8.20 9.10 9.41

— 豊後中村駅 — バス — 牧ノ戸峠 — 25分 — くっかけ山
10.04 10.20 11.10

— 105分 — 久住山 — 45分 — 稲星山 — 60分 — 法華院温泉（泊）

— 105分 — 大船山 — 25分 — 北大船山 — 90分 — 坊ガツル

— 50分 — 雨ヶ池越 — 55分 — 九重登山口（長者原） — バス —
2.30

別府（泊）
4.30

法華院温泉山荘 ☎ 09747- 7- 2810

温泉閣 ☎ 0977- 66- 1767

高松港から合流、さすが九州の主峰、余りの雄大さに圧倒される。

露天風呂からの視界は最高。 地獄めぐり、臼杵石仏、風連鐘乳洞の見物。 下界は猛暑、よく飲み、よく食べ、よく眠る。 「オーガス」

第 63 回 貴 船 か ら 岩 倉

昭和58年10月23日（日）

出町柳駅 ―27分― 貴船口 ―35分― 貴船神社 ―35分―
鞍馬寺 ―20分― 鞍馬 ―50分― 静原 ―90分―
岩倉実相院 ―30分― 三条京阪

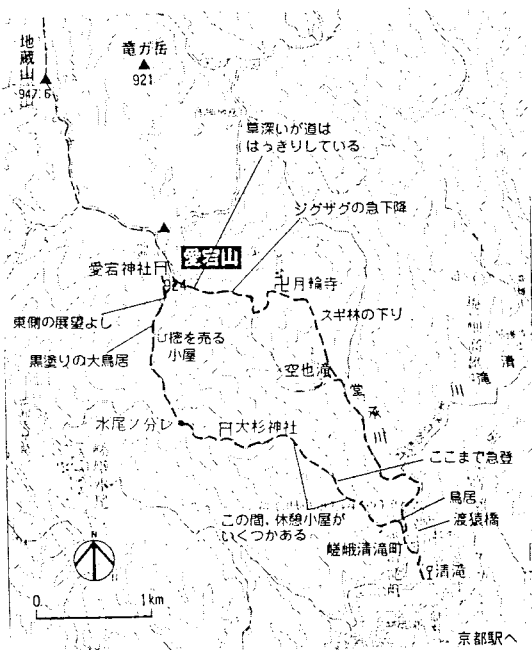
生憎の空模様ながら、足取りは軽く、昼頃には青空も仰がれた楽しい一日であった。鞍馬から岩倉へと抜け、ちょうど祭風景に出会えたこと、いまだに印象深く思う。



第 6 4 回 愛 宕 山

昭和59年 2 月 11 日 (土)

阪急嵐山駅 - 60分 - 清滝 - 40分 - 梨木谷出合 - 45分 -
 月輪寺 - 45分 - 愛宕山頂 - 25分 - 水尾分かれ - 75分 -
 清滝 - 60分 - 嵐山



●愛宕神社 宝亀年間(七七〇)
 七八〇)和氣清麻呂が勅を奉じて
 堂宇を創建したと伝えられている。
 伊勢掛尊のほか四神を祭り、王城
 鎮護と火災の守護神としてあがめ
 られている。全国に九〇〇を越す
 分社があり、愛宕燈籠はこの分霊
 を祭るもの。7月31日の夜半から
 登る「千日まいり」は有名。

第 6 5 回 御 池 岳

昭和59年5月3日(木)～4日(金)

京都 - 草津 - 柘植 - 亀山 - 富田 - 西藤原
1252 - 1317-1335-1422 1454-1517 1534-1611 1630-1717

－15分－ 坂本(泊)

坂本 - 90分 - 白船峠 - 15分 - 真ノ谷 - 40分 - コグルミ谷

分岐点 - 20分 - 丸山への東分岐点 - 10分 - 丸山 - 20分 -

丸山への東分岐点 - 20分 - コグルミ谷分岐点 - 35分 - 池ノ平

- 20分 - 鈴北岳 - 10分 - 平ノ口 - 60分 - 御池谷出合

- 20分 - 百々女鬼橋 - 20分 - 大君ガ畑 - 60分 - 南彦根

近江鉄道(彦根駅前)

☎ 07492- 2- 3301

嵐荘

☎ 0594- 46- 3211

三岐鉄道の電車で揺られて終点の西藤原へ。駅前を左にとると、北西に通じる幅広い道に出る。左手に藤原岳登山口の道標、新しい鉄筋の小学校、聖宝寺への入口を見送って少しいくと、幹回り一辺、高さ十数mの大きなケヤキが丸く枝を茂らせている。このケヤキのところに食料品の店と養蜂場の案内板とがあり、左に幅狭い車道が分かれている。この石垣に沿った道に入ると、道は二分する。「林道坂本線」の標識の立つ道を左に分け、右にカーブしながら進む。すぐ奥が一基ばつんとあり、ここから西に向かって一帯幅の道がずつと伸びている。これをとって緩く登っていくとすぐ人家が尽き、ヤマブキの多い山麓になる。

左手に浄水場があり、山道になって流れに沿うと橋を渡り、左岸に移る。ほどなく小滝と呼ばれている一〇m近い四条のナメ滝があり、急流がほんのしばらくほどはしる。右に、岩の下からの湧水が勢よくあふれている。この先は流れも伏流になって、さらに進むと岩小屋があり、付近には石灰岩の露岩が散在する。左へ山道が分かれるが、右をとるとあとは一本道が白船峠(白瀬峠)までよく踏まれて続いている。

次第に伏流の沢から離れ、シロモジの純林を経て支尾根上に出る。このあたりから北の方が開けて、木の間がぐれに伊吹、烏帽子、笨ガ岳などの山々が望まれる。小さな乗越を過ぎると、5月初旬頃まで長く連なっていた残雪のある沢に出る。春には残雪のそばにミスミソウ、ミヤマカタバミ、カタクリ、ウバユリ等が萌え出していて、峠近い感じが強い。

登り着いた白船峠は県境稜線上の鞍部で、展望はさかないがいかにも峠らしい地形に加えて、春のコブシ、新緑、紅葉が印象に残る場所である。

真ノ谷への下りは、峠の直下で右への分かれ道に入って落葉松の林を左にししながら、最初ほとんど水平に、次第にくぐ緩く下ってゆく。沢筋におり立つと、浅い清水が四季を通じて流れ、一〇m程ぐらいいは可能の格好のテント場。春にはアズマイチゲが地表をおっている。

通行にうつるとすぐ狭い谷になり、よく踏まれた踏跡道(出水後には消失することがある)が沢沿いについている。流れから少し離れたたり、ちよつと巻いたりしているが谷底を詰めていく。水流が消え、バイケイソウの群落を谷を埋めているところなどを通り、最後まで詰めあげる。

コグルミ谷からの道の合流点、丸山・奥ノ平への分岐点を経て池ノ平を進み、踏分け道と道標に導かれて鈴北岳に立つ。鈴北の頂上には東西にのびる山道と、それに直交する県境稜線のかすかな踏跡道があり、頂上から鞍出峠を目指して北に向かってたどるようになる。

峠からは西に下ると、植林後まだ余りたっていない若い林の広い斜面の中よく踏まれた道を経て、車道に出る。そして、あとは御池谷橋、百々女鬼橋を過ぎて大君ガ畑の集落に着く。



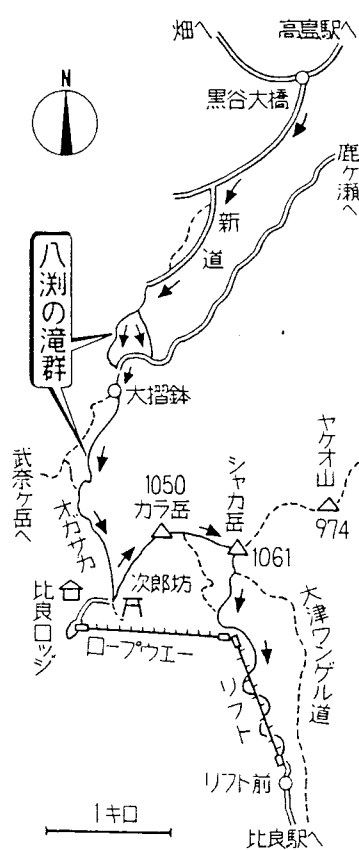
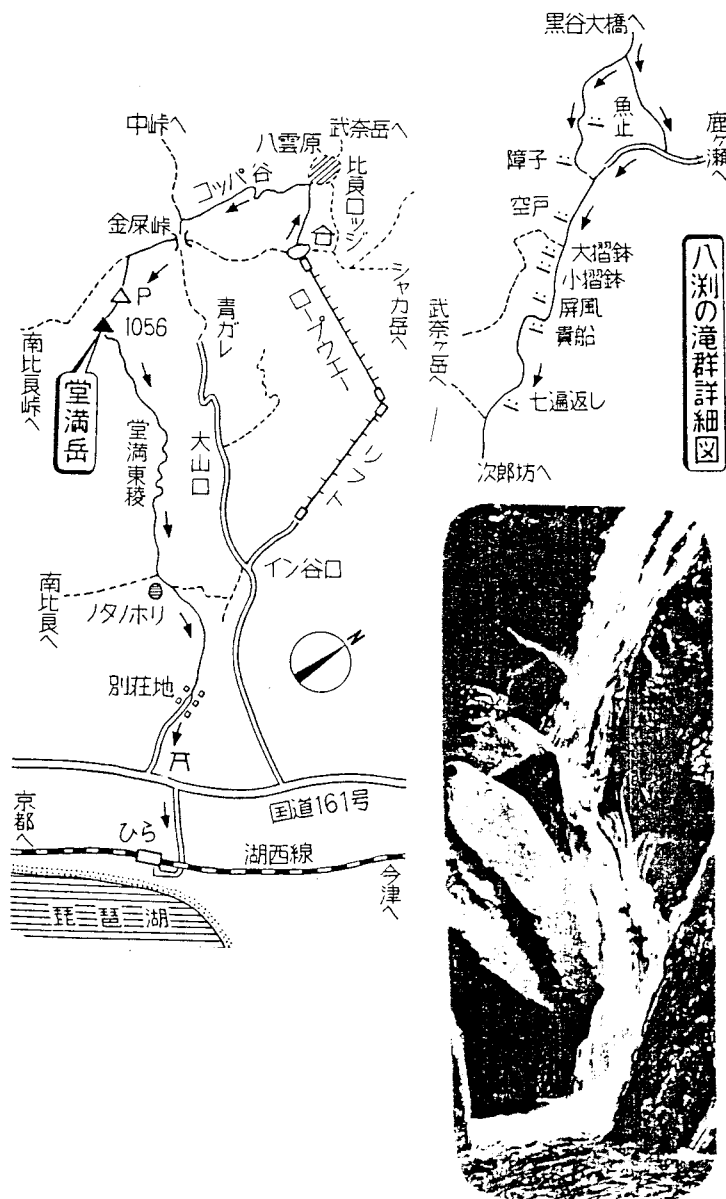
第 6 6 回 八 瀨 滝 か ら 堂 満 岳

昭和59年 9 月 24 日 (日)

茨木 — 京都 — 近江高島 — 30分 — 黒谷 — 100分 — 八瀨滝
727 750 803 903 923

— 90分 — 北比良峠 — 40分 — 金糞峠 — 30分 — 堂満岳 — 60分
— ノタノホリ — 30分 — イン谷口 — 40分 — 比良

近江バス ☎ 0775- 73- 2704



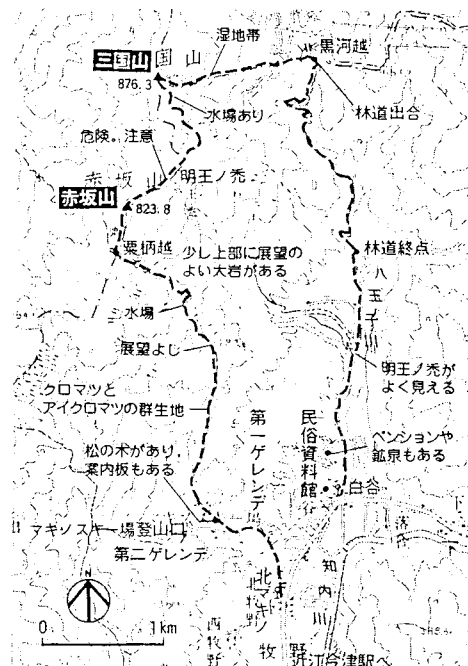
第 67 回 三 国 山 ・ 赤 坂 山

昭和59年10月20日（土）～21日（日）

茨木 — 京都 — マキノ — 6K — 白谷温泉（泊）
1544 1606 1619 1742

白谷温泉 — 20分 — 在原林道との分岐 — 50分 — 黒河越え
— 50分 — 三国山頂 — 25分 — 明王ノ禿 — 20分 — 赤坂山
— 10分 — 栗柄越え — 60分 — マキノスキー場 — 50分 —
蛭口 — マキノ

マキノ温泉 八王子荘 0740- 27- 0085



第 68 回 金 勝 ア ル プ ス

昭和59年11月23日（金）

茨木 ー 京都 ー 石山 ーバス35分ー 桐生辻 ー50分ー
853 922 937 945

粕坂磨崖仏 ー50分ー 天狗岩 ー20分ー 林道 ー30分ー 片山
ーバス30分ー 草津



粕坂磨崖仏

●粕坂磨崖仏は縦七段、横三層の花崗岩に大小一二体の三尊像、菩薩立像が刻まれている。平安鎌倉時代の作とされている。

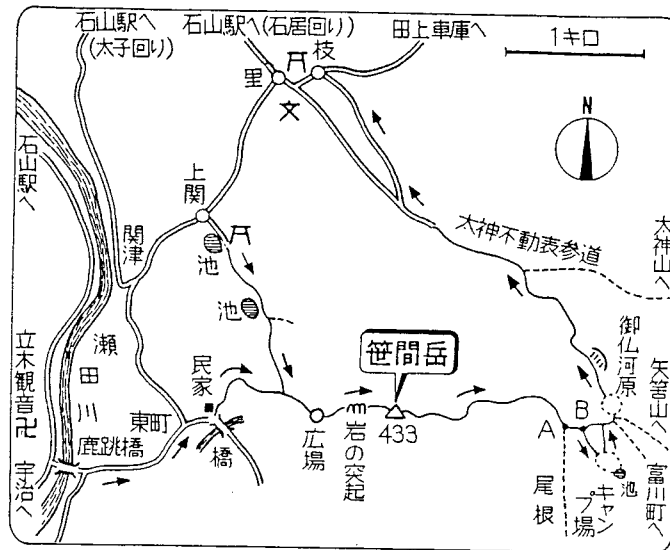
第 6 9 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和60年 1 月 27 日 (日)

茨木 ー 京都 ー 石山 ー 25分ー 上関 ー 80分ー 笹間岳
852 922 937 945

ー 30分ー 池のある広場 ー 30分ー 天神川 ー 40分ー 枝

ー 25分ー 石山



第 70 回 武 奈 ガ 岳

昭和60年 2月18日 (月)

茨木 — 京都 — 比良 — バス — リフト前 — 20分 —
727 750 803 851

山上駅 — 15分 — 八雲ガ原 — 18分 — イブルキノコバ

— 50分 — 武奈ガ岳 — 45分 — 八雲ガ原 — 40分 — 金糞峠

— 43分 — 大山口 — 30分 — イン谷口 — 35分 — 比良

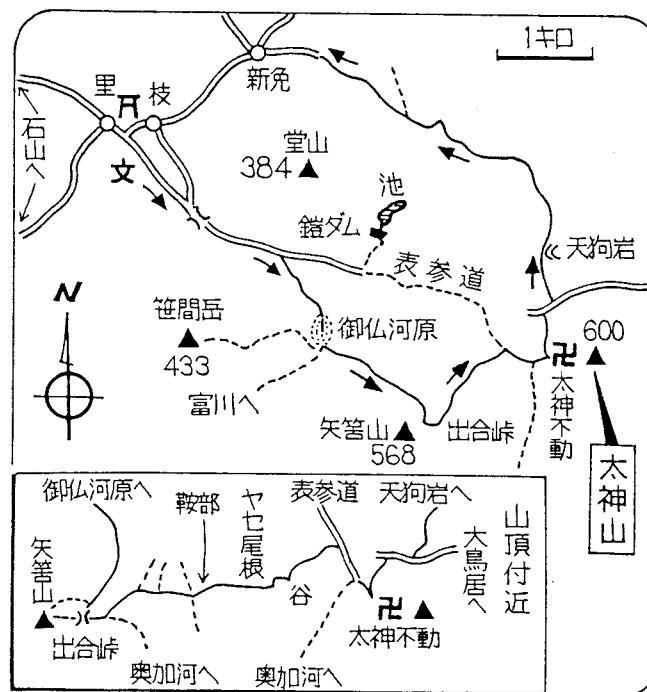


第 7 1 回 太 神 山

昭和60年4月28日(日)

石山駅 —バス22分— 登山口 —20分— 迎不動 —60分—
915

不動寺 —10分— 太神山休憩所 —150分— 田代川出合
—70分— 大鳥居 —バス33分— 石山駅



第 7 2 回 大 台 ケ 原 ・ 大 杉 谷

昭和60年5月3日(金)～5日(日)

近鉄京都 — 橿原神宮前 — 大和上市 — バス — 大台ケ原
740 834 838 908 920 1137

—20分— 正木ガ原 —10分— 尾鷲辻 —15分— 牛石ケ原

—20分— 大蛇嵩 —40分— シオカラ谷吊橋 —30分— 大台ケ原(泊)

大台ケ原 —40分— 日出ケ岳 —90分— 堂倉小屋 —50分—

堂倉滝 —20分— 与八郎滝 —10分— 隠れ滝 —15分— 光り滝

—30分— セツ釜滝前 —25分— 桃ノ木山の家(泊)

桃ノ木山の家 —30分— 平等嵩前 —35分— 猪ケ淵 —40分—

千尋滝前休憩所 —55分— 雨量観測所跡地 —60分— 宮川第三発電所

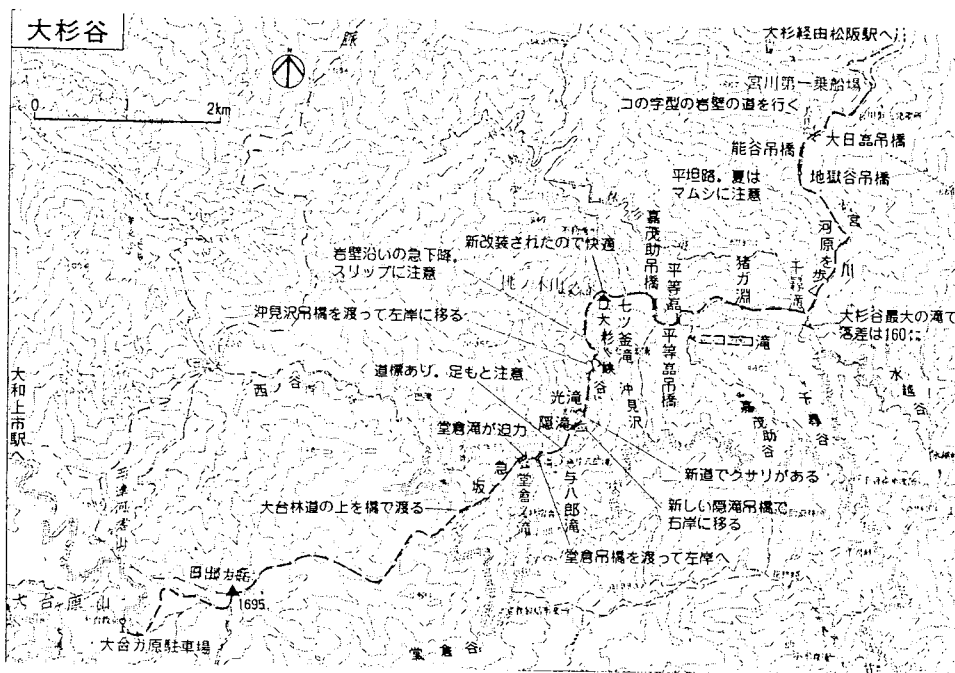
—15分— 乗船場 —40分— 大杉 —130分— 松阪 — 京都

大台教会山の家 07468- 2- 0168

桃ノ木山の家 05973- 2- 2052

奈良交通 0742- 22- 5268

三重交通 0598- 51- 5240



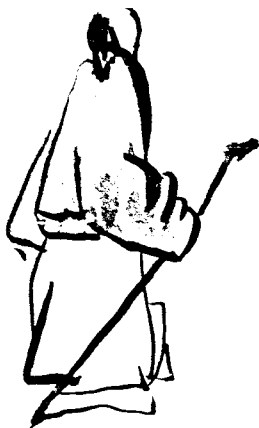
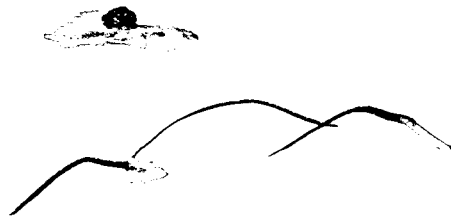
第 7 3 回 釈迦 岳

昭和60年 6 月 2 日 (日)

茨木 ー 京都 ー 比良 ー バスー イン谷口 ー100分ー
816 840 856 936

金糞峠 ー40分ー 山上駅 ー60分ー 釈迦岳 ー60分ー

涼峠 ー25分ー 揚梅滝 ー30分ー 北小松



第 74 回 谷 川 岳

昭和60年7月25日（木）～30日（火）

水上温泉（第16回全私研） ————— バス ————— 湯桧曽温泉（泊）

湯桧曽温泉 — タクシー — マチガ沢出合 厳剛新道登山口 — 120分 —

西黒尾根分岐 — 60分 — ザンゲ岩 — 30分 — 谷川岳 — 70分 —

一ノ倉岳 — 30分 — 茂倉岳 — 70分 — 矢場ノ頭 — 120分 — 茂倉

新道分岐 — 30分 — 土樽駅 — 越後湯沢駅 — 長岡駅（泊）
2035 2051 2054 2210

長岡駅 — 雷鳥 — 京都駅 — 大阪駅
953 1540 1612

水上温泉 ひがきホテル ☎ 0278- 72- 2552

湯桧曽温泉 本家旅館 ☎ 0278- 72- 2585

長岡ターミナルホテル ☎ 0258- 32- 2344

厳剛新道は、旧道マチガ沢出合から西黒尾根上部に取り付く道で、森林帯の比較的ゆるい登りだから谷川岳登山の最も登り易いコースといえるだろう。登り口はマチガ沢出合手前の左側で、見落とすことのない立派な指導標があり、誘い込まれるようによく踏まれた道を歩き出す。やがて、左から水の濁れた一ノ沢が入ってくる。二ノ沢を越すあたりから登りはきつくなり、木の根が出ているので注意しながら進んで行くと、マチガ沢の全容が見え始める。

谷川岳のシンボルである二つ耳のトマノ耳、オキノ耳から流れ落ちるマチガ沢の奥壁、そして東尾根へと屏風をめぐらす展望を楽しみながらの登高が続く。マチガ沢には夏まで雪渓が残っているので、5月の連休頃はスキーヤーがテント泊まりでスキーを楽しんでいる。季節にはシャクナゲやコブシが美しく咲き乱れ、休憩時間が長引くのも忘れるだろう。本谷のS字状も手にとるように眺められ、大滝までは沢通しで登っても登山届けは出さなくともよく、大滝が一般登山の限界とされている。森林帯の中をグングン登らせられ、高度をかせいだと思うころ、ヒョッコリ西黒尾根に飛び出す。そこは西黒沢のガレ沢源頭で、1516メートルの科尔といわれる所だ。ここから頂上に向かっての尾根は、急なジグザグ道となり、息を切らせての登りとなるが、左に西黒沢から天神尾根、右にマチガ沢の奥壁から東尾根、背後には白毛門山から箒ヶ岳と広い展望の快適な登高になる。ザンゲ岩を過ぎればもうそこは肩ノ広場の一角で、クマザサの尾根を真っ直ぐに進めば道は二つに分岐し、右すれば山頂トマノ耳（1963m）に達する。左を進めば肩ノ広場の方向指示盤に行き当たり、肩ノ小屋は指呼の間である。肩ノ広場には7月まで残雪が見られグリセード遊びもできる。雪が消えれば、南斜面の草原はお花畑の楽園となる。しかし、肩ノ広場は常にガスが巻いているので、下山路を失い迷い歩くことが多いので注意する。ベテランでも間違えることが当たり前といわれる所だから、引き返して確認することをおすすめする。晴れた山頂なら心

配もなく、360度の展望をほしいままに、遠くのなつかしい山々まで満喫することができる。天神尾根の下りは、一応西黒尾根に戻ってから、右に真っ直ぐ下ると天神尾根道に出られる。

谷川連峰の山々に登るには、概して、上州側の方が距離が短いので登りやすい。一方越後側の土樽を出発点とすると、最も登りやすいのがこの茂倉新道である。それにしても谷川岳に登るには7時間ほどかかるので、下山路に使われることの方が多い。茂倉岳の直下を清水トンネルが貫いているわけで、山頂からトンネルの出入り口になっている土樽駅を望むことができる。茂倉岳から茂倉新道下りを紹介しよう。山頂は東西に広がり、右に武能岳への道を分け、左の茂倉新道を下りかけて200メートルほどに避難小屋がある。この小屋は20人位は収容できるもので、水場も近くにあるが、8月末からは当てにはできない乏しいものである。視界の開けた明るい尾根道はグングン高度を下げて行く。川棚ノ頭など小さいピークをいくつかクマザサを分けて下ると矢場ノ頭に出る。ここは四方が見えるすばらしい展望台で、シャクナゲやツツジが咲くころは美しいに違いない。谷川岳二つからオジカ沢ノ頭、万太郎山、仙ノ倉山、平標山まで谷川連峰を間近に眺めることができる。ここから下は森林帯に入り展望はなくなるので十分見ておくがよい。満足したら腰をあげて「檜廊下」といわれる美しいヒノキ林に入るが、やがて左に万太郎谷、右に茂倉谷が深く切れ込み、尾根はやせて木の根が張り出し、露岩や赤土の急なやせ尾根となる。木の根に靴がはさまったりするので気をつけてゆっくり下ることになる。正面には飯土山がとがって立派に見え、その下に岩原スキー場が扇のように広がり、足元は土樽山ノ家も見えてくる。ジグザグのやせ尾根下りも蓬沢までで、蓬沢の吊橋を渡ると蓬峠への立派な道に合流し、土樽駅へペーパメントの散歩道を3～40分歩けば土樽山ノ家に入ることができる。

第 7 5 回 二 上 山

昭和60年10月10日（木）

近鉄京都駅 — 橿原神宮前駅 — 当麻寺駅 —15分— 当麻寺
846 936 950 1010

—30分— 祐泉寺 —25分— 岩屋峠 —15分— 展望台 —50分—

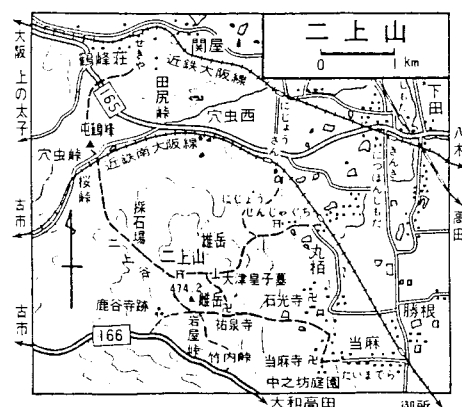
鞍部 —15分— 雄岳 —15分— 鞍部 —20分— 二上谷下降・

採石場 —30分— 屯鶴峰 —50分— 関谷駅 — 八木駅

「時雨ふる二上山を見渡せば梢もあけに染めてけるかな」行家」など、数多くの古歌でも知られた二上山は金剛生駒国定公園の異色ある存在。大阪をめぐる山々のうち唯一の死火山である。凝灰岩が主部を占めているが、別名を松香石といい、古くから石棺や社寺の用材に使われ、この方面でも大きい役割りを果している。山頂は二峰に分かれ、雄岳は五一七・二、雌岳は四七四・二、子供でも登れる低山だが、前述のように地質学徒にとつては貴重な資料の山。山麓に散在する古跡と結んで、軽いトレッキングにはふさわしい山だといえる。

登路はたくさんあるが、奈良県側の当麻寺から登るのが一般的。当麻寺駅で下車、西の突きあたりにある当麻寺に詣で、北門を出て韋堂、大池、祐泉寺を経て山頂を踏む。道は祐泉寺から左右二本に分かれるが、右をとれば雄岳と雌岳の鞍部に、左をとれば中將姫伝説の岩屋峠に登り着く。展望は二峰ともに恵まれ、奈良平野が大観される。雌岳には三角点、雄岳には葛木二上神社と大津皇子の墓がある。

降路は二峰の鞍部から二上谷を下り、屯鶴峰に歩を延ばそう。二上谷はかつて金剛砂の採掘が盛んだったところ。今も近くの穴虫では金剛砂産額日本一を誇っている。屯鶴峰は灰白色の凝灰岩が四方坪にわたって集積する奇勝で、二上山から噴出した火山灰、火山砂、火山礫等が堆石したもの。遠望すると白い鶴が屯した形に見えるところからその名がある。



●屯鶴峰 二上山が第三紀末期に噴出した時に噴出した灰が湖底に堆積し、厚い凝灰岩層を形成。その後、隆起した湖底が陸地となり流水の浸食により現在の奇観を形成したといわれている。

●金剛砂 金剛砂のほとんどはザクロ石。二上山周辺はわが国第一の産出地といわれ、研磨機として使われている。

屯鶴峰からは北端にある展望台を経て小道を右に折れ、急な斜面を下って国道165号線を横切り、すぐ右に折れて雄木の小山を越え、鶴峰荘の住宅地を過ぎ、近鉄関屋駅に着く。

第 7 6 回 霊 仙 山

昭和60年11月22日（金）～23日（土）

茨木 ー 京都 ー 醒ガ井 ー バスー 下松尾（泊）
1700 1725 1852 1903

下松尾 ー25分ー 浄水場 ー30分ー 林道終点 ー40分ー こうもり穴
ー50分ー 漆ガ滝 ー60分ー 尾根道との出合 ー25分ー 経塚山
ー10分ー 霊仙山 ー10分ー 経塚山 ー15分ー おとらが池 ー60分ー
汗ふき峠 ー15分ー 樽ヶ畑（廃村） ー55分ー 醒ガ井養鱒場

ー20分ー 米原 ー 京都
1859 2012

民宿 ますや ☎ 0749- 54- 0256

近江バス（彦根） ☎ 07492- 2- 3301

醒ガ井駅前を発車したバスはすぐ名神高速道路をくぐり、惣谷川に沿って走る。上丹生バス停で降りると、支流の丹生川に沿うコースを示す指導標が、左に道をとることを示している。また、野猿公園の猿の日々の動静を示す案内も併記されているのは興味深い。

伏流、清水の流れが交互に現われ、どんな干天の時にも水の枯れたことのない漆ガ滝（霊仙滝）を落とし、急崖に四季折々の風情も豊かな明るい谷山谷に、南西風の景観を楽しみ、山頂とその南に続く瘦尾根に雄大な展望を満喫するのが、これからのたどらうとする谷山谷道と西南尾根道とを結ぶこのコースの特徴である。また、バスを降り立った上丹生は、本地師の流れのひとつ——白木の仏壇作りを業とする彫師の多い集落で、土地で「アカバエ」と呼ぶ小魚が群遊する丹生川の狭い清流を挟んで連なる静かな山麓の村である。

指導標に従って左にとり、家並が尽きると浄水場が現われて、左にイモエ谷林道を分ける。すぐ野猿公園入口があり、ここで橋を渡って左岸へと林道がのびている。付近には一群の野猿がよく餌付けされ、のびのびとわわっている。

やがて林道が山道に変わり、狭い谷の伏流の中を、何度も左、右にと渡り返したり、石飛び道となったりしながら緩く登っている。乾いた礫の下から、思い出したように湧く清水や大きな岩、石灰岩洞窟など、変化のある谷の眺めと幾種もの落葉広葉樹に季節感を味わいながらのんびりと歩こう。よく踏まれた道で、ルートを見失うことはまずあるまい。

漆ガ滝（霊仙滝）は三つと七つほどのややナメ滝状のささやかな二段の滝で、その割には大きな滝壺、水の青さが印象的だ。戻り気味に左岸を巻くと、やがて右からの小さい支

流に沿って登るようになる。

樹林を抜け、スズケを分けると柏原道の八合目付近の鞍部に飛び出す。

九合目から頂上部への緩やかな広大なススキの海となる。琵琶湖国定公園特別地域の標柱やケルンの立つ経塚山（北霊仙）を経て、いったん鞍部へ少し下ると、三角点頂上は近い。展望のすばらしさは前途の時間を忘れさせ、立ち去り難くなるほどだが、ひとたび霧や吹雪に見舞われると非常に危いので、特に冬の気象変化には注意していただきたい。

下山は経塚山に戻り、ここで柏原道と分かれて直角に左（西）へ。よく踏まれた道を下ると笹原をかき分けて、次第に高度を下げてゆく。

際立った瘦尾根でも、ハッキリした沢筋でもない変化に乏しい中腹をゆく。途中、お虎ガ池とか水のないドリーネ、幾つかのカレンフェルト（墓石石灰岩）を過ぎ、お猿石、見晴台等を経て汗拭峠におり立つ。

なお、峠までの途中で枝道が分岐するが、結局、峠で一本に合わる。峠には幾本もの指導標が立っていて、右すれば廃村の樽ヶ畑、左にすれば植林の中を下って落合経由霊仙洞窟である。

右にとって下ると、ほどなく廃屋の点々と残る暗い感じの樽ヶ畑。廃村を抜けたところから、明るい林道が惣谷川の右岸の急斜面に新しく開かれた。養鱒場までは分岐のない緩い斜面の下りで、廃村から林道を約1時間で養鱒場だが、常に山側（右手）からの落石に注意のこと。養鱒場からはバスが醒ガ井駅に通じている。

第 77 回 湖 南 ア ル プ ス

昭和61年1月26日(日)

大阪 ー 茨木 ー 京都 ー 石山 ーバス25分ー 上関
839 853 922 937 945

ー70分ー 笹間岳 ー30分ー 池のある広場 ー30分ー

天神川 ー20分ー アルプス登山口 ーバス20分ー 石山
1515

帝産湖南交通

☎ 07755- 2- 3020



第 78 回 堂 満 岳

昭和61年 2 月 17 日 (月)

茨木 ー 京都 ー 比良 ー バスー イン谷口 ー 60分ー 青ガレ
853 920 932 1019

ー 50分ー 金糞峠 ー 60分ー 堂満岳 ー 80分ー ノタノホリ

ー 30分ー イン谷口 ー バスー 比良



第 79 回 綿 向 山

昭和61年5月4日(日)～5日(月)

茨木 ー 京都 ー 草津 ー 三雲 ー 国鉄バスー 大河原(泊)
1230 1302 1327 1336 1355 1358 1458

大河原 ー40分ー 熊野分岐 ー20分ー 熊野神社 ー30分ー 熊野滝
ー15分ー 登山道出合 ー75分ー 文三ハゲ上部 ー15分ー 金明水
ー15分ー 綿向山 ー10分ー 竜王山分岐 ー25分ー 奥ノ平鞍部
ー90分ー 竜王登山口 ー30分ー 西明寺 ー車ー 近江八幡

国民宿舎 かもしか荘 ☎ 07486- 9- 0344

国鉄バス 水口(営) ☎ 07486- 2- 1156

近江バス 日野駅(案) ☎ 07485- 2- 2112

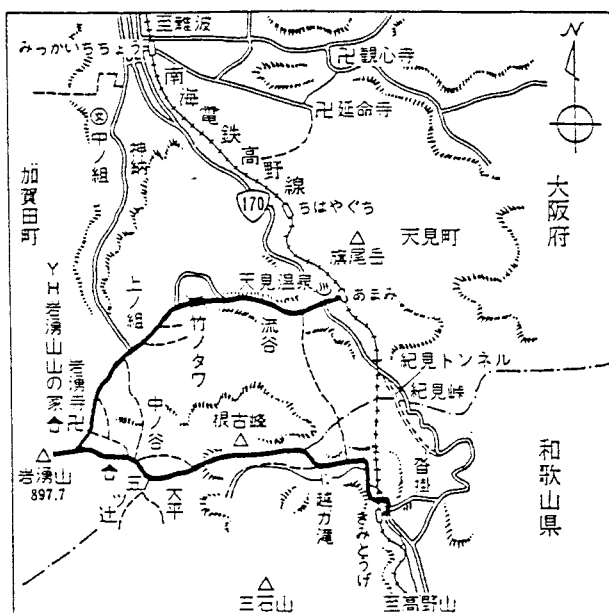


第 80 回 岩 湧 山

昭和61年 6 月 1 日 (日)

難波 ー急行50分ー 紀見峠 ー40分ー 越ガ滝前分岐 ー30分ー
915

三合目 ー60分ー 五ツ辻 ー40分ー 岩湧山 ー40分ー 岩湧寺
ー40分ー 上ノ組 ー40分ー 新道乗越 ー15分ー 流谷 ー30分ー
天見 ー急行45分ー 難波



第 8 1 回 韓 国 岳 ・ 由 布 岳

昭和61年7月25日(金)～8月2日(土)

- 25日(金) 大阪 —あかつき1号(寝)— 長崎
2036 843
- 26日(土) 観光バスによる市内巡り Cコース(1000発1415着)
- 長崎 —バス— 雲仙公園
1500 1720
- 27日(日) 教研
- 28日(月) 教研
- 29日(火) 雲仙 —バス— 島原外港 —船— 大牟田港 —バス—
705 745 755 845 850
- 大牟田駅 —有明5号— 熊本駅 —えびの3号—
911 951 1033 1036
- 小林駅 —バス— えびの高原
1358 1410 1507
- 30日(水) えびの高原 —60分— 韓国岳 —75分— 獅子戸岳
—30分— 新燃岳 —25分— 中岳 —50分—
高千穂河原 —90分— 高千穂峰 —40分— 高千穂河原
—タクシー— 霧島神宮駅 — 宮崎駅 —日南(急)—
2113 2259 2315
- 31日(木) 別府駅 —バス— 由布岳登山口 —31分— 合野越
415
—71分— 東ノ岳 —54分— 合野越 —90分—
由布院 —バス— 別府
- 1日(金) 別府 — 宇佐神宮 — 福沢旧邸 — 青の洞門 —
羅漢寺 — 深馬溪 — 別府港 — 関西汽船—
1920
- 2日(土) 神戸港
650

湯元ホテル

国民宿舎 えびの高原荘

湯泉閣

☎ 0957- 73- 3255

☎ 0984- 33- 0161

☎ 0977- 66- 1767



第 8 2 回 三 上 山

昭和61年 9 月 22 日 (月)

茨木 一 京都 一 守山 一 車一 河内風穴 一 多賀大社 一
747 811 843

登山口 一 40分一 三上山 一 25分一 登山口 一 守山



第 83 回 鳥 見 山 ・ 貝 ガ 平 山

昭和61年10月19日（日）

近鉄京都駅 816 ー急行ー 八木駅 918 ー 榛原駅 ー40分ー 鳥見山登山口

ー45分ー 鳥見山 ー35分ー 玉立分岐 ー25分ー 貝ガ平山

ー40分ー 玉立 ー40分ー 榛原駅



第 84 回 靈 仙 山

昭和61年11月10日（月）

京都 ー 守山 ー車ー 落合 ー30分ー 汗フキ峠 ー90分ー
828 900

経塚山 ー20分ー 最高点 ー30分ー 南靈仙山 ー70分ー 今畑
ー 守山



裏六甲ハイキング

日、時、9月24日(土)

ただし雨天中止

コース 阪急宝塚駅(9:40発) ^{約20分} 船坂橋 ^{40分}
^{阪急バス}
 老ヶ石 ^{20分} 川上の滝 ^{30分} 六甲ニール通気筒
 1時間 鳥居茶屋 都甲自然遊歩道 奥池 バス 芦屋川

阪急神戸線 大阪方面

待合場 阪急宝塚駅北側出口改札付近
 時月

下りバス停 牛
 下りバス 宝塚 → 梅田
 下りバス 宝塚

9時40分発のバスに乗りまうのにおしれないように
 お願いします。

尚、梅田から宝塚まで急行で約40分です。

不明の点は中村まで TEL 0742-41 3675